

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 トラスト鶴見		
○保護者評価実施期間	2026年 2月24日		2026年 3月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2026年 2月24日		2026年 3月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者とのコミュニケーションを密におこなっている	送迎時や連絡帳にて利用時の様子をくわしくお伝えしながら、ご家庭での様子を聞かせて頂いている	いつでも相談できる環境作り
2	戸外活動の充実	社会見学や体験、集団での行動練習	将来の進路の幅を広げられる体験
3	季節を取り入れた活動	季節に応じた活動を通して、季節を感じ感性を育てる	アオゾラ農園での畑作業、季節ごとの野菜の収穫と調理、食育

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携	地域の社会資源に対する認知不足	地域の社会資源を把握、地域交流会等の参加、イベント
2	トイレが1つしかない	出来れば2つは欲しいが建物構造上厳しい	混雑しないように時間差で誘導や時間を決めている
3	男性スタッフが少ない	離職率が低いので雇用の枠が中々ない	スタッフのスキルアップ